

## (AL 関連の実践)【高校/家庭】授業展開の効率化とアクティブラーニング

黒田順子 (神奈川県立港北高等学校)

溝上のコメントは最後にあります

### 対象授業

- ・ 授業：高校1年生 家庭総合
- ・ 生徒数：40名×8クラス
- ・ 教材：教科書『家庭総合 パートナースhipでつくる未来』(実教出版)  
資料集『トータルデータ 家庭科ガイドブック 資料集+成分表』(教育図書)

### 第1節 授業の目標

- ①家庭総合の単元「住居」、「消費行動」、「家計のしくみ」の内容を取り入れた授業展開(4時間)によって、効率よく複数分野の学習を行う。
- ②学習者本人の将来の生活スタイルを思考し、実生活と関連させながら学習内容の深化、定着を図る。
- ③他の学習者の意見を聞き、学習者本人の生活スタイルやその価値観について思考を深める。
- ④授業展開の中で、ワークシートを順序だてて仕上げ、前の消費者分野で学習した内容を復習し、それを活用する応用力を身に付けることができる。

### 第2節 授業の流れと目的

#### (1) 目的

- ①一人暮らしの賃貸住宅を借りる想定で、賃貸契約の手順や住居の構造などについて理解する。
- ②一人暮らしの社会人という想定で、給与明細の見方や、家計のやりくりについて考える。
- ③他の学習者と意見交換しながらさまざまな思考を共有し、自分の生活スタイルや価値観について考える。

#### (2) 授業の流れ(4時間)

##### 1時間目

- ・ 授業の流れと目的について説明する。・・・講義  
途中で各自の進度が違ってくるため、あらかじめ4時間分の流れと目的について説明しておく。
- ・ 賃貸契約の内容について説明する。・・・講義  
特に契約時の支払いについて、生徒が未経験で知識が少ないため、丁寧に説明する。
- ・ 物件情報の見方、賃貸住宅に関する事柄を調べる。・・・各自の調べ学習

##### 2時間目

- ・ ワーク1「一人暮らしの部屋選び」

別紙「賃貸物件情報」を見て、借りる部屋を12種類の物件より選ぶ。

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点
5分	(全体説明) ・本時の流れと目的について ・ワークシートの書き方について	・部屋選びが単に家賃を決めるだけのものではなく、生活スタイルに関連していることを説明しておく。
20分	(グループ活動) ・物件を選ぶにあたり重視する事柄について意見交換し、発表内容をボードに記入する。	・出た意見を無理に1つにまとめることがないように説明しておく。
10分	(発表) ・特に重視したい項目とその理由について発表する。 ・発表後、ボードは黒板に貼る。	・ボードは発表後、黒板に貼るため、大きく記入してもらう。(書き方の指示をする) ・発表は必ず全ての班にしてもらう。
10分	(各自) ・グループで出し合った意見、他の班の意見を参考に各自物件を選ぶ。 ・各自が選んだ物件について、物件選びで重視する事柄とその内容をまとめる。	・ワークシートまとめは時間内に終わるよう時間配分を考える。 ・始めにグループで出し合った意見と異なるまとめでもよいことを説明しておく。

[生徒の様子]

- ・グループで意見交換している最中にわからない用語や図表が出てくると、手分けをして調べる様子が見られた。
- ・仮想の設定であるが、現在の生活と照らし合わせながら自分の価値観を見出している。
- ・ワークシートを記入しながら、黒板に貼られたボードを眺めている生徒もいる。



図1 物件選びで重視する内容について意見を出し合い、発表内容をボードに書いている様子



図2 それぞれの発表を聞いたのち、各自が物件選びをする

1年 家庭総合 消費者分野 No.5

一人暮らしの部屋選びと家計簿

学習の目的  
 ◎一人暮らしの賃貸住宅を借りる想定で、賃貸契約の手順や住居の構造などについて理解する  
 ◎一人暮らしの社会人という想定で、給与明細の見方や、家計のやりくりについて考える。

学習内容

- 1 賃貸住宅に関する事柄を調べる。・・・プリント「消費者分野No. 4」
- 2 「一人暮らしの部屋選び」をする。・・・プリント「消費者分野No. 5」(ステップ1)
  - ・別紙「賃貸物件情報」を見て、借りる部屋を(物件①～④)より選ぶ。
  - ・選ぶ際は、プリントNo. 4の「賃貸物件情報の見方」を参考にする。
- 3 「家財道具を購入する」・・・プリント「消費者分野No. 6」(ステップ2)
  - ・ステップ1で決定した住居に、どのような家財道具を配置したいか、考える。
  - ・家財道具の選び方は【あ】(安価)【い】(標準価格)【う】(やや高価)に分かれている。そのいずれかを選び、記号と金額を表に記入する。
  - ・元々設置されているものや、自分が必要としないものは購入しなくてよい。
  - ・一部高価な購入品目を、クレジットカードで購入し、一か月の支払金額を決める。
- 4 「一人暮らしの家計簿」・・・プリント「消費者分野No. 7」(ステップ3)
  - ・職業は会社員という想定で、一か月の給料明細と支出について考える。
  - ・家計のなかで、「家賃」はステップ1で決定した金額を入れる。
  - ・ステップ2で購入した物品のクレジット払いについて、支払金額を入れる。

ステップ1 一人暮らしの部屋選び

部屋を借りる

◆私の設定

私は(25)歳 職業(会社員) 入社(3)年目 年収(260万円)

◆部屋選び

◇部屋選びのポイント

①家賃は手取り収入の(1/3)以内が目安。  
 ②電灯環境(自然光のみよき、空調の暖かみ)がよい。  
 ③広さや間取りは、(実際に居住している部屋)を想定しながら決める。

◇物件情報から部屋を選ぶ。

○私が選んだ物件の情報(別紙の物件情報①～④より選ぶ) 番号

・最寄り駅からの時間(バス 分・徒歩 分)  
 ・物件の構造( ) ・完成後の年数( )  
 ・住居の広さ・間取り( ) ・入居時期( )  
 ・住居の方位( ) ・方位から考えられる日照( )  
 ・住居の付帯設備(エアコン CATV EV バランダ BS )  
 ・その他、物件情報からわかること(他の設備など)

○選んだ物件を借りる際に必要な費用は?

〈賃貸契約する時に必要な費用〉		〈毎月必要な住居費〉	
家賃・管理費	円	家賃	円
礼金(ヶ月分)	円	管理費	円
敷金(ヶ月分)	円		
手数料(1ヶ月分)	円		
<b>A 合計</b>	<b>円</b>	<b>合計</b>	<b>円</b>
生活始めるために必要な費用となる(ステップ2でこの金額を記入)		これが毎月必要な住居費となる(ステップ3でこの金額を記入)	

○この物件を選んだ理由

○物件を選ぶときに、一番重視したいところはどこですか?

1年 組 番 氏 名

図3 2時間目のワークシート(大きく)

表1 ワークシートの記述内容「その物件を選んだ理由」

- ・駅から近いことは多数の生徒があげている
- ・駅や病院、スーパー・コンビニなどの生活をする上で必要な場所までの距離が近い
- ・バス、トイレが別か。
- ・耐震性 ・オートロックなどの防犯設備 ・安心安全な場所
- ・家賃と距離とのバランス。 ・自分が支払いできる範囲の家賃。
- ・階を重視したい(日照がかかっているから)
- ・新しさ
- ・BS アンテナやインターネット環境

(生徒のワークシートより抜粋)

### 3時間目

- ・ワーク2「家財道具を購入する」・・・グループ活動

(AL 関連の実践)【高校/家庭科】授業展開の効率化とアクティブラーニング (2018年5月12日掲載 更新なし)

ワーク1で決定した住居に、どのような家財道具を配置したいかを考える。  
 家財道具の選び方は、【安価】、【標準価格】、【やや高価】の金額設定より選択する。  
 どんなものを買入りたいかを考えることが、自分の生活スタイルを考える機会となる。  
 グループでの意見交換をしながら自分の購入したいものを決定していく。

- ・一番高価な購入品目を、クレジット購入する設定にし、一か月分の支払金額を決める。  
 (前の單元では、クレジット契約に関して支払方法や契約時の注意などを学習している)

#### 4 時間目

- ・給与明細書の内容と見方について・・・講義
- ・ワーク3「一人暮らしの家計簿」・・・個人

職業は会社員という想定で、一か月分の給料明細と支出について考える。

家計の支出項目「住居費」は、ワーク1で決定した家賃の金額を入れる。

ワーク2で購入した物品の「クレジット払い」について、月々の返済額を入れる。

一人暮らしの家計

ステップ3 1ヶ月の予算を立てよう！

教科書 P229参照  
 ◆私の設定 (25)歳 入社(3)年目 職業(会社員) 年収(260万円)

◆私の給与明細

支給額	基本給		各種手当					役員手当
	基本給	家族手当	住宅手当	勤務地手当	通勤手当	時間外勤務手当		
1893,740	0	19,300	19,340	18,850	15,210	0	0	

控除額	社会保険料				税金		
	①健康保険	②厚生年金	③雇用保険	④介護保険	⑤所得税	⑥住民税	⑦労働組合費
5,278	12,525	1,218	0	6,190	15,700	2,000	

◆控除額の内容を見よう

社会保険料	税金とは？
円	① ( ) → ( ) 円
円	② ( ) → ( ) 円
円	③ ( ) → ( ) 円
円	④ ( ) → ( ) 円
円	税金とは？
円	⑤ ( ) → ( ) 円
円	⑥ ( ) → ( ) 円
円	⑦労働組合費
円	控除額は？
円	社会保険料・税金・労働組合費を合計したもの

◆実収入にやりくりできる収入を見よう

給与支給額	円	基本給と各種手当を合計したもの
控除額	円	
差引支給額	円	手取り収入 今月やりくりできる手取り金額

収入	項目	金額	説明
手取り収入	円		ステップ3 差引支給額(この金額で今月のやりくりをする)
住居費	円		どの部屋を借りたか。ステップ1の家賃と管理費の合計を記入。(実際には、住居手当が出ている分は少ない)
食費	円		★一人暮らしの平均食費(28,500円) 1食300円 1日900円として計算。 ・外食する費用は？
光熱費	円		★電気代 エアコンがある(4500円) ない(3200円) ★ガス代 返収する(3700円) 自炊しない(2500円)
水道代	円		★水道代(3700円) ★商品に毎日入る？
被服費	円		★平均被服費(7000円) 服、下着、くつ、履物、クリーニング代など
衛生・保健	円		化粧品、洗剤、美容品、薬、治療費など ★平均額(4300円) 活動にかかると交通費
通信費	円		(ステップ3通勤手当の18,850円) 通勤以外の交通費(電車・バス・タクシー) 車やバイクを持つ場合(ガソリン代・駐車場料) ★携帯電話・スマホ代等( ) 円 ★固定電話(3000円) 新設代(3900円) NHK受信料(2230円)(衛星放送含む)
娯楽費	円		書籍、漫画、雑誌、映画代、ゲーム代、交際費 旅行、自分の趣味にかかるとお金は？
クレジットの支払い	円		家財道具をクレジットで買ったものは？ ステップ2 毎月のクレジット支払額を記入
貯金	円		いくら貯金できるか？
その他	円		他に、自分でとって必要な支出は何かあるか？ ( ) 円 他にない場合は0円
支出合計	円		支出それぞれの意味と金額を再確認しよう！
収入-支出	円		手取り収入から支出合計を引いた金額 不意な出費にも備えて、余裕があるか？

(参考) 家計のやりくりを考えた気づいたこととまとめよう。

図4 4時間目のワークシート(大きく)

#### 第3節 学習成果

- ・授業時間が少ない中、分野横断的な授業展開によって複数分野の内容を効率よく取り入れることができた。
- ・題材が「住む」「購入する」「生活する」「給与」などといった、生活そのものであるため、自分の生活スタイルに反映させやすい。
- ・グループワークや発表形式を取り入れることにより、単なる個人の作業にならずに済んだ。
- ・ワークの内容が、前のワークで決定した事柄や金額を記入する形になっているため、順序良く作業を進められ、他のワークより取組状況が良かった。

(AL 関連の実践)【高校/家庭科】授業展開の効率化とアクティブラーニング (2018年5月12日掲載 更新なし)

- ・授業の始めに4時間分の流れを説明することで、見通しを持たせることができた。

**表2 ワークシートの記述内容「家計のやりくりをして気づいた点」**

- ・意外と通信費が高いことに気づいた。
- ・自由に使えるお金がないことに気づいた。日頃から節約しなければならない。
- ・親が大変な思いをして節約していることがわかった。
- ・自分が本当に必要なものを購入しているのかをよく考えたい。
- ・若いうちは高価なものを買うのは大変だ。
- ・一人暮らしを始めるには家賃だけではなく敷金や礼金も考えなければならいことを知った。
- ・今の生活と同じことをしようとする大変な出費になる。一人暮らしをするなら生活の仕方から考えなければならない。
- ・自分の収入だけで家計を考えると必然的に光熱費や水道代などを節約しなければならないことになる。
- ・今回のやりくりはうまくいったが、予定外の出費もあるだろうから、うまくやっていかなければならない。
- ・クレジットを利用するとさらに支払額が増えて大変になる。
- ・収入からいろいろ引かれて自分に残るお金が意外と少なくなる。
- ・高い家を借りるなら娯楽費は減らさなければならない。
- ・実際にはこんなうまくはいかないだろう
- ・計画的に使っていかないと借金をしてしまいそう。

(生徒のワークシートより抜粋)

**第4節 今後の課題**

- ・グループワークにかかる時間とタイミングをうまくはかる必要がある。時間が多すぎると雑談になってしまうことがある。
- ・グループでの活動は、グループによって時間差がある。早く終わったグループが時間をもてあましてしまうことがあった。そのような時に、さらに深く意見交換できるような声かけが必要である。
- ・個々に生活スタイルやその価値観を思考する題材ではあるが、ワークシート記入の作業に終始してしまい、意見交換が不十分なグループもあった。もう少し「深い学び」に結びつけるための「問い」について工夫する必要がある。

**溝上のコメント**

- ・講義を聞く姿勢やグループワークに取り組む態度など、生徒の学習や受講態度がとても良いことに感心する。生徒がふだんからしっかり取り組んでいる様子が垣間見える。
- ・アクティブラーニング型授業の基本形の一つである、ワークシートベース（\*参考）で授業が展開する（図3や図4）。1回1回のワーク（シート）がステップアップ式に繋がっている

(AL 関連の実践)【高校/家庭科】授業展開の効率化とアクティブラーニング (2018年5月12日掲載 更新なし)

のもとても良い。

(\*参考) (講話) ワークシートベースのアクティブラーニング型授業にする

- ・ グループワークをまなボードにまとめた後、グループ発表がなされる。また、全グループのまなボードを黒板に貼って、クラス全体でワークの成果を即座に共有するのもいい。席上での発表 (写真左) では、発表者に体を向けられない生徒が出てくるので、そこは少し注意を向けさせる方がよい。



写真 (右) 各グループの席上での発表

(左) 全グループのまなボードを黒板に貼る

## プロフィール



- ・ **黒田 順子 (くろだ じゅんこ) @神奈川県立港北高等学校**
- ・ 一言：授業展開に迷ったときは、授業の「ねらい」に立ち返るようになっています。アクティブラーニングにもっていく授業展開は少しずつ定着してきていますが、そこから「深い学び」に繋げることは容易ではないため、これからも試行錯誤していきたいと思います。